

神田川(妙正寺川・善福寺川)の水害を大きく減らします！！

～河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)～

本年9月の1時間100ミリを超える集中豪雨により、甚大な浸水被害を被った神田川(妙正寺川・善福寺川)について、国土交通省では再度災害防止の観点から、激特事業として採択することとしました。

この事業により、今年から概ね5ヶ年で、当該地域の護岸や妙正寺川から環七地下調節池への取水施設などの整備を実施することにより、水害の軽減を図ります。

記

激特事業の概要

- ・事業区間 妙正寺川 約3.9km
善福寺川 約2.0km
- ・事業内容 護岸整備、妙正寺川取水施設、河床掘削、橋梁架替、調節池掘削などにより河川の流下能力を向上させるとともに洪水を効果的に貯留し、治水安全度を大幅に向上させます。
- ・事業期間 平成17年度～平成21年度の5ヵ年間
- ・採択事業費 113億円

1 時間 に 1 0 0 ミリ を 超 え る 猛 烈 な 雨 を 記 録

妙正寺川、善福寺川上流部を中心に、9月4日夕方から5日未明にかけて時間最大100ミリ以上の激しい雨が降り、杉並区、中野区、新宿区で

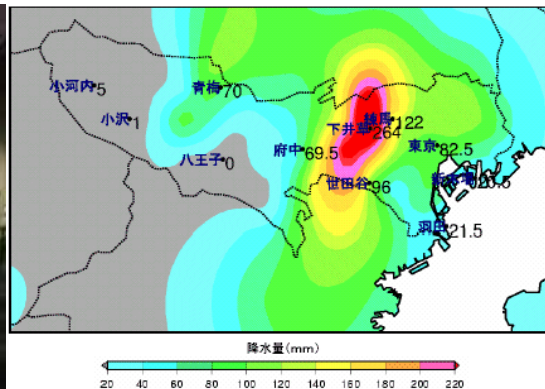
浸水家屋3,588戸(床上1,582戸、床下2,006戸)の甚大な被害が発生。

・総雨量 : 263mm (下井草観測所・杉並区)

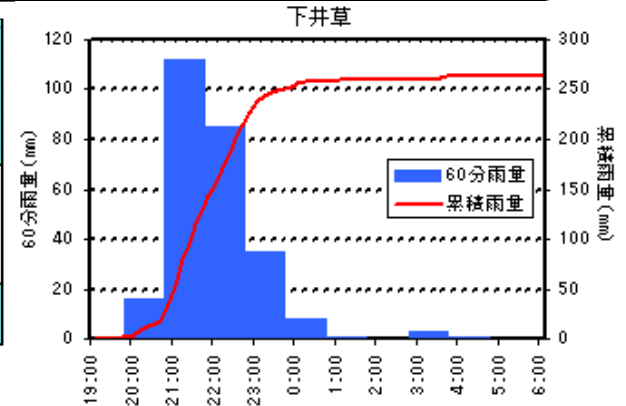
・時間最大雨量: 112mm/h (下井草観測所・杉並区)



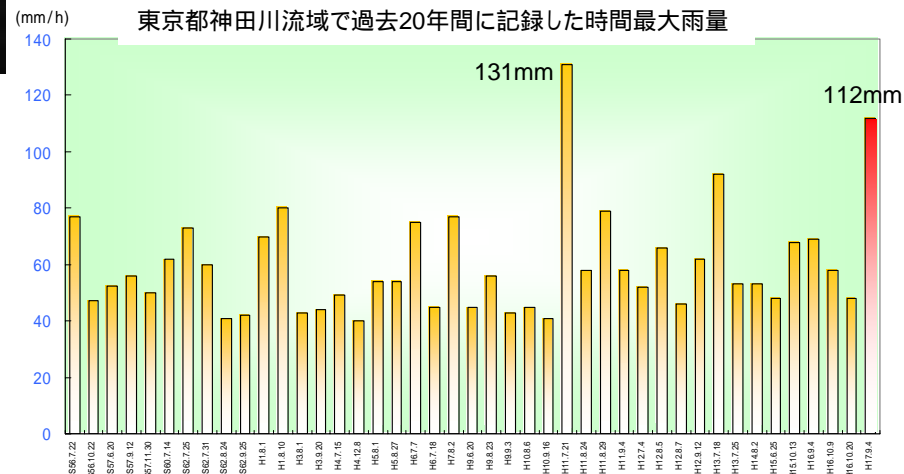
妙正寺川北原橋付近 中野区提供



積算降水量分布図(平成17年9月4日12時~5日06時の合計)(アメダス、東京都及び杉並区のデータを使用)

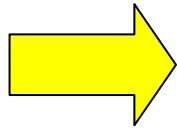


下井草観測所雨量(60分雨量及び累積雨量)



今回の平成17年9月4日洪水の推定流量は、妙正寺川が計画の310m³/sに対し、約210m³/s(江古田川合流点)、善福寺川が計画の260m³/sに対し約220m³/s(神田川合流点)であった。

過去20年間で2番目となる時間最大雨量を記録する猛烈な雨

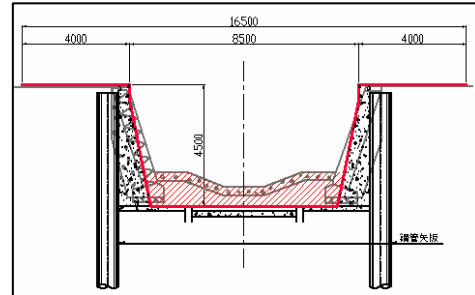


妙正寺川、善福寺川で甚大な浸水被害が発生



激特事業実施箇所と整備内容

激特実施箇所及び整備内容



河床掘削・護岸整備



調節池掘削（和田堀第六調節池）



妙正寺川 激特事業区間
 落合調節池～環七地下調節池取水施設
 (延長 約3.9km)

善福寺川 激特事業区間
 環七地下調節池取水施設～和田堀第六調節池
 (延長 約2.0km)

位置図



整備内容

河川断面の拡大

妙正寺川：3,650m

善福寺川：350m

環七地下調節池

善福寺川取水施設の整備

妙正寺川取水施設の整備

和田堀第六調節池の整備

整備期間

平成17年度～平成21年度

今回の整備対象となっていない上流側についても、引き続き整備を行っていきます。

あわせて行うソフト対策

都が護岸や調節池の整備を行うと共に、地元区では防災行政無線の充実、救助用ゴムボートや排水ポンプを配備するなど、防災体制の強化を図っていきます。

東京都が行うこと

洪水情報提供の強化

・既に公表している浸水予想区域図について実績降雨を基に検証を行い、必要に応じて見直し

・浸水が予想される地域について、関係部局と連携し地下利用のあり方の検討

関係区が行うこと

・台風や豪雨に備えた迅速かつ的確な水防活動の実施

・水位計の増設、防災行政無線等の再構築、ハザードマップ、避難場所の見直しなどの避難・警戒情報提供の強化、充実